

I 事務の点検評価の趣旨等

1 点検評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、これを公表することが義務づけられています。

このため、狭山市教育委員会では、学識経験者の知見の活用を図り、教育委員会の事務の点検評価を実施しています。

本報告書は、効果的な教育行政の推進を図るとともに市民に公表することにより説明責任を果たすものです。

2 点検評価の対象

点検評価は、平成23年度末の事後評価とし、その対象は、次のとおりとします。

- ①第3次狭山市総合振興計画後期基本計画に掲げた教育関連施策のとりくみ目標
- ②第3次狭山市総合振興計画後期基本計画のとりくみに沿って実施した教育関係の主な事業

II 教育委員会の事務の概要

1 教育委員会関係の諸計画

(1) 第3次総合振興計画後期基本計画・実施計画

第3次狭山市総合振興計画基本構想（計画期間：平成13年度から平成27年度）に基づき、平成23年度から平成27年度までの5年間を対象とした後期基本計画を定めています。基本計画は、基本構想をもとに分野ごとに実施する施策の体系とその内容を示しています。後期基本計画において、教育文化の分野については、第5章人を育み文化を創造するまちをめざしてのなかで、①生涯学習の振興、②学校教育の充実、③人権と平和の尊重、④市民文化の振興と国際化への対応の4つの節を掲げるとともに、それぞれの節ごとに具体的な施策を掲げています。また、基本計画をもとに、向こう3か年で実施する事業を具体的に示した実施計画を定めています。

(2) 教育振興基本計画

教育振興基本計画は、教育基本法に基づき、国や県の教育振興基本計画を参酌し、第3次総合振興計画後期基本計画を上位計画とし、他の関連計画とも整合性を図り策定したものです。

平成23年度から27年度までの5か年を計画期間とし、「学びあい 結びあい 高めあう 狭山の教育」を教育の基本理念に掲げ、「かしこく 心豊かで 健やかな `さやまっ子` の育成」を学校教育の基本方針とし、また、「ともに学び 学びを活かして 豊かに生きる `さやま市民` の育成」を生涯学習の基本方針とし、今後展開する教育施策の柱となる基本目標を定めたものです。

(3) 第4次生涯学習基本計画

第4次生涯学習基本計画は、第3次の計画が平成23年3月をもって終了したことから、同時期に策定した教育振興基本計画との整合を図るなかで、平成23年度から平成27年度までの5年間を計画期間として策定したものです。

計画の策定にあたっては、計画の基本目標を「生涯にわたり 育み活かす 豊か

な学びの振興」と定め、これの実現に向けて、5つの施策を掲げるとともに、施策ごとに具体的な取り組みを設定し、推進を図ることとしています。

2 平成23年度教育行政の取り組みと重点

教育委員会では、毎年、教育委員会として重点的に取り組む施策と事業を定め、これをもとに、各種事業を推進しています。

平成23年度の狭山市教育行政の取り組みと重点では、教育振興基本計画の体系に沿った施策ごとの取り組みと重点を示しています。

3 教育委員会会議等の開催状況

平成23年度における教育委員会会議及び教育委員会が所掌する各種審議会等の開催状況は、次のとおりです。

(1) 教育委員会会議

① 定例会

区分	期 日	付 議 事 件
平成23 年第4 回	4月26日	狭山市社会教育委員の委嘱について ほか1件
第5回	5月24日	狭山市立公民館条例の一部を改正する条例 ほか5件
第6回	6月23日	狭山市立幼稚園授業料減免に関する規則の一部を改正する規則 ほか5件
第7回	7月26日	平成23年度狭山市立小中学校管理職の年度途中人事異動について ほか1件
第8回	8月24日	平成23年度狭山市一般会計（教育費）補正予算について ほか2件
第9回	9月26日	平成24年度当初教職員人事異動の実施について ほか1件
第10回	10月27日	狭山市小・中学校管理規則の一部を改正する規則 ほか4件
第11回	11月22日	狭山市スポーツ振興審議会条例及び特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 ほか1件
第12回	12月20日	狭山市立公民館管理規則の一部を改正する規則 ほか3件
平成24 年第1 回	1月23日	狭山市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 ほか2件
第2回	2月21日	狭山市立公民館条例等の一部を改正する条例 ほか9件
第3回	3月28日	狭山市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則 ほか4件

②臨時会

区 分	期 日	付 議 事 件
平成 23 年 第 3 回	9 月 16 日	狭山市スポーツ振興審議会委員の解職について
平成 24 年 第 1 回	1 月 24 日	平成 2 3 年度狭山市一般会計（教育費）補正予算（第 3 号）
第 2 回	3 月 30 日	平成 2 3 年度狭山市一般会計（教育費）補正予算（第 5 号） ほか1件

③学校訪問

区 分	期 日	訪 問 場 所
学校指導 訪問	5 月 25 日～ 1 月 31 日	入間川東小学校、南小学校、入間野小学校、新狭山小学校、 奥富小学校、柏原小学校 中央中学校、入間川中学校、西中学校
研究委嘱 発表	10月21日～ 1 月 20 日	入間川小学校、富士見小学校・東中学校、山王小学校、 新狭山小学校 柏原幼稚園

④視察

区 分	期 日	視 察 場 所
市 内 視 察	11月22日	柏原小学校（幼稚園、小・中学校及び公民館の現状、公民館 と小・中学校の連携について）
市 外 視 察	2 月 8 日	横浜市立東山田中学校（学校運営協議会への取り組みについ て） いそご区民活動支援センター（区民活動センターの業務内容 について）

（2）各種審議会等

①社会教育委員会議

区 分	期 日	審 議 事 項
第 1 回	6 月 29 日	県立狭山青陵高校学校評議員の社会教育委員からの選出に ついて ほか 2 件
第 2 回	11 月 16 日	入間地区社会教育委員等の研修についての参加委員からの 報告について ほか 1 件
第 3 回	3 月 14 日	社会教育関係団体運営費補助金について ほか 1 件

②富士見集会所運営審議会

区 分	期 日	審 議 事 項
第 1 回	5 月 20 日	平成 2 2 年度事業報告について ほか 4 件
第 2 回	12 月 16 日	平成 2 3 年度事業実施状況について ほか 3 件

第3回	3月12日	平成23年度事業実施状況について ほか3件
-----	-------	-----------------------

③文化財保護審議会

区分	期日	審議事項
第1回	5月9日	平成22年度事業報告について ほか3件
第2回	10月17日	指定文化財候補の検討について ほか3件
第3回	3月13日	平成24年度文化財保護費予算案について ほか2件

④スポーツ振興審議会（スポーツ推進審議会）

区分	期日	審議事項
第1回	7月19日	平成22年度事業報告について ほか2件
第2回	11月17日	狭山市スポーツ振興審議会条例の一部改正について ほか1件
第3回	2月7日	平成23年度社会体育事業中間報告について ほか2件

⑤体育指導委員会議（スポーツ推進委員会議）

区分	期日	審議事項
第1回	4月15日	平成23年度生涯スポーツ事業計画について ほか1件
第2回	9月9日	教育委員会等主催事業への協力について
第3回	12月6日	教育委員会等主催事業への協力について
第4回	3月27日	教育委員会等主催事業への協力について

⑥博物館協議会

区分	期日	審議事項
第1回	7月22日	平成22年度春期企画展「ボンボン時計展」の結果報告について ほか2件
第2回	11月17日	平成23年度夏期企画展「恐竜アート展」の結果報告についてほか2件
第3回	3月14日	平成23年度秋期企画展「日本の四季 鈴木至夫日本画展」の結果報告について ほか2件

⑦図書館協議会

区 分	期 日	審 議 事 項
第 1 回	7 月 28 日	平成 2 2 年度事業報告について ほか 1 件
第 2 回	1 月 19 日	平成 2 3 年度事業中間報告について ほか 3 件
第 3 回	3 月 22 日	「狭山市子ども読書活動推進計画」策定の進捗状況について ほか 1 件

⑧公民館運営審議会

区 分	期 日	審 議 事 項
第 1 回	5 月 24 日	中央公民館の移転と公民館の利用時間区分及び使用料の見直しについて ほか 4 件
第 2 回	12 月 9 日	中央公民館の西口公益施設への移転について ほか 3 件
第 3 回	3 月 12 日	平成 2 4 年度公民館の基本方針・重点目標(案)について ほか 1 件

⑨学校給食センター運営委員会

区 分	期 日	審 議 事 項
第 1 回	7 月 29 日	平成 2 2 年度学校給食センター事業報告について ほか 4 件
第 2 回	11 月 21 日	給食費の未納について ほか 2 件
第 3 回	3 月 21 日	平成 2 4 年度学校給食事業計画(案)について ほか 4 件

⑩その他

教育委員会会議や各種審議会以外にも、教育委員会では、学校統廃合について検討するため、学校統廃合検討協議会を設置するなど、市民の意見等を事業の推進に反映させるため、各種協議会等を設置しています。

4 教育委員会の予算・決算の状況（平成 2 3 年度）

平成 2 3 年度教育費（歳出）の当初予算額は 4,736,940,000 円で、一般会計歳出総額に対する構成比は 10.3%であり、同じく決算額は 4,729,105,903 円で、構成比は 10.7%となりました。

費 目	当初予算額（円）	決 算 額（円）
一 般 会 計 総 額	46,000,000,000	44,391,347,072
10 款 教育費	4,736,940,000	4,729,105,903
1 項 教育総務費	739,977,000	719,455,302
1 目 教育委員会費	4,440,000	4,243,860
2 目 事務局費	480,129,000	469,587,264

3目	教育指導費	164,556,000	161,530,770
4目	人権教育費	1,291,000	1,134,338
5目	教育センター費	89,561,000	82,959,070
2項	小学校費	1,265,662,000	1,250,806,309
1目	学校管理費	373,717,000	357,003,354
2目	教育振興費	70,669,000	68,783,899
3目	学童保育対策費	187,383,000	171,150,874
4目	学校施設整備費	59,025,000	79,096,734
5目	耐震補強工事費	384,022,000	385,139,462
6目	富士見小学校防音関連工事費	178,771,000	169,395,471
7目	広瀬小学校防音関連工事費	12,075,000	8,838,207
9目	山王小学校防音関連工事費		11,398,308
3項	中学校費	554,809,000	571,683,652
1目	学校管理費	242,989,000	240,027,209
2目	教育振興費	72,117,000	66,377,025
3目	学校施設整備費	44,625,000	41,880,147
4目	耐震補強工事費	195,078,000	223,399,271
4項	幼稚園費	373,616,000	367,163,696
1目	幼稚園管理費	373,616,000	367,163,696
5項	社会教育費	798,095,000	785,995,305
1目	社会教育総務費	149,010,000	151,785,642
2目	公民館費	248,302,000	221,823,821
3目	図書館費	264,315,000	268,969,766
4目	文化財保護費	9,571,000	9,021,572
5目	集会所管理費	28,869,000	30,920,973
6目	博物館費	98,028,000	103,473,531
6項	保健体育費	1,004,781,000	1,034,001,639
1目	保健体育総務費	47,565,000	50,517,764
2目	学校保健費	63,956,000	60,615,582
3目	社会体育費	14,475,000	13,437,544
4目	体育施設管理費	111,884,000	109,950,719
5目	学校給食センター費	766,901,000	799,480,030

Ⅲ 平成23年度教育関係施策・事業の点検評価結果

第3次狭山市総合振興計画後期基本計画（以下「後期基本計画」という。）に掲げられた教育関係施策の平成23年度末における進捗状況ととりくみ目標の評価は、次のとおりです。

なお、枠で囲ってある後期基本計画のとりくみ目標の評価の具体的内容及び平成23年度実施事務事業の評価の具体的内容については、別添の「点検評価表」を参照してください。とりくみ目標の整理番号はL1～L18、実施事務事業の整理番号は1～32です。

I 生涯学習の振興

(1) 生涯学習の推進

後期基本計画における「とりくみ目標」（整理番号L-1）

生涯学習・社会教育に関する事業件数（件）

実績値（平成21年度） 910

目標値（平成27年度） 965

平成23年度末の達成状況 906

（達成状況とその評価）

平成23年度は、東日本大震災に伴う計画停電の影響から会場の確保に一部支障が生じ、事業件数は実績値を下回る結果となった。今後は、出前講座の周知を図るとともに、各施設における講座等の開催数の増加に努めていく必要がある。

後期基本計画における「とりくみ目標」（整理番号L-2）

生涯学習・社会教育情報へのアクセス件数（件）

実績値（平成21年度） —

目標値（平成27年度） 10,000/月

平成23年度末の達成状況 3,536/月

（達成状況とその評価）

生涯学習に取り組む団体やボランティア講師の情報を検索できるシステム「さやまなびいネット」を市民交流促進総合ポータルサイト「さやマルシェ」内に構築した。平成24年度から情報の提供を行うこととしており、アクセス件数の増加が見込まれる。

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L-3)

現代的課題や地域課題に関する事業件数(件)

実績値(平成21年度) 97

目標値(平成27年度) 150

平成23年度末の達成状況 157

(達成状況とその評価)

事業件数については目標値を達成した。今後は、講座の学習プログラム等についてさらに充実していく必要がある。

1) 生涯学習の機会の充実

★狭山シニア・コミュニティ・カレッジ事業(整理番号1)

⇒必要性:5、有効性:4、効率性:4、今後:内容の見直し

★公民館運営事業(講座等)(整理番号3)

⇒必要性:4、有効性:3、効率性:4、今後:継続

★公民館運営事業(貸館)(整理番号4)

⇒必要性:4、有効性:4、効率性:4、今後:内容の見直し

★図書館管理運営事業(整理番号5)

⇒必要性:5、有効性:4、効率性:4、今後:継続

★博物館管理運営事業(整理番号6)

⇒必要性:4、有効性:4、効率性:4、今後:継続

★博物館企画展事業(整理番号7)

⇒必要性:4、有効性:4、効率性:4、今後:継続

2) 生涯学習の環境の充実

★公民館改修整備事業(整理番号2)

⇒必要性:5、有効性:5、効率性:4、今後:継続

★生涯学習情報発信事業(整理番号8)

⇒必要性:4、有効性:4、効率性:3、今後:継続

3) 社会教育の充実

★公民館講座等運営事業(整理番号9)

⇒必要性:5、有効性:5、効率性:4、今後:継続

4) 学習成果の評価と活用

(2) 生涯スポーツの促進

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L-4)

スポーツ教室・行事の開催回数(回)

実績値(平成21年度) 21

目標値(平成27年度) 25

平成23年度末の達成状況 23

(達成状況とその評価)

開催回数については、目標値の達成に向け増加しているが、今後も、市民ニーズを的確に把握するとともに、民間企業や大学等の施設や人材などを活用するなどして、内容の充実を図っていく必要がある。

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L-5)

公共スポーツ施設利用者数(人)

実績値(平成21年度) 813,109

目標値(平成27年度) 830,000

平成23年度末の達成状況 862,160

(達成状況とその評価)

施設の利用人数の増加により、目標値は達成しているが、今後も、市民ニーズを的確に把握するとともに、各種スポーツ・レクリエーション団体の活動のより一層の活性化を図るなかで、施設の有効利用の促進を図っていく必要がある。

後期基本計画における「とりくみ目標」（整理番号L-6）

スポーツ実施率（％）

実績値（平成19年度） 36.4

目標値（平成27年度） 50以上

平成23年度末の達成状況 -

（達成状況とその評価）

平成23年度末時点のアンケート調査は実施しておらず、達成状況の把握は難しいが、近年のスポーツ・レクリエーションへの関心度の高まりから、目標値に近づきつつあると思われる。

今年度も、各種のスポーツ教室・行事の充実を図るとともに、スポーツによる健康づくり等について啓発を図るなどして、市民のスポーツの実施等の向上を図っていく必要がある。

1) スポーツの機会の拡充

★スポーツ教室等開催事業（整理番号10）

⇒必要性：4、有効性：4、効率性：4 今後：継続

2) スポーツ施設の整備と有効活用

★市民総合体育館管理運営事業（整理番号11）

⇒必要性：4、有効性：5、効率性：5 今後：継続

★武道館管理運営事業（整理番号12）

⇒必要性：3、有効性：4、効率性：2 今後：継続

3) 地域のスポーツ活動の促進

★スポーツボランティア制度運営事業（整理番号13）

⇒必要性：4、有効性：3、効率性：3 今後：継続

★スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援事業（整理番号14）

⇒必要性：4、有効性：4、効率性：4 今後：継続

2 学校教育の充実

(1) 教育内容の充実

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L-7)

埼玉県学習状況調査項目のなかで関心・意欲・態度の観点
を測る問題の正答率(%)

実績値(平成21年度) 小学 76.6 中学 55.9

目標値(平成27年度) 小学 80.0 中学 70.0

平成23年度末の達成状況 小学 68.5 中学 64.2

(達成状況とその評価)

中学校においては正答率が伸びたが、小学校においては正答率がやや下がった。関心・意欲・態度を高める指導をさらに充実していく必要がある。

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L-8)

農業体験宿泊学習実施校数(校)

実績値(平成21年度) 3

目標値(平成27年度) 17

平成23年度末の達成状況 9

(達成状況とその評価)

津南町での農業体験宿泊学習を実施した学校数の累計だが、目標値達成のためには、残り4年間で8校の実施が必要となる。実施の意義の理解を踏まえて、積極的な参加を促していく必要がある。

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L-9)

不登校児童生徒の学校復帰率(%)

実績値(平成21年度) 27.4

目標値(平成27年度) 33.3

平成23年度末の達成状況 33.3

(達成状況とその評価)

目標値をほぼ達成している。今後も、引き続き、相談員によるきめ細かな相談活動や適応指導教室と学校との連携の強化等を通じて、学校への復帰を促していく必要がある。

- 1) 教育指導内容の充実
 - ★外国語早期教育推進事業（整理番号15）
⇒必要性：5、有効性：4、効率性：5、今後：継続
 - ★中学生社会体験チャレンジ事業（整理番号16）
⇒必要性：4、有効性：4、効率性：4、今後：継続
 - ★非常勤講師配置事業（整理番号17）
⇒必要性：4、有効性：4、効率性：4、今後：継続
 - ★幼稚園教育充実事業（整理番号18）
⇒必要性：4、有効性：4、効率性：4、今後：継続
- 2) 特別支援教育の充実
- 3) 教育支援体制の充実
 - ★教育相談事業（いじめ・不登校対策事業）（整理番号19）
⇒必要性：5、有効性：4、効率性：4 今後：継続
 - ★奨学金貸与事業（整理番号20）
⇒必要性：5、有効性：4、効率性：3、今後：継続
 - ★私立幼稚園就園奨励費補助事業（整理番号21）
⇒必要性：5、有効性：4、効率性：4、今後：継続
- 4) 教職員の資質の向上
- 5) 家庭教育力の向上を図る取組と地域との連携
- 6) 学校関係者評価の積極的な公開

(2) 教育環境の充実

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L-10)

○小中学校の校舎・体育館の耐震化率(%)

実績値(平成21年度) 63.3

目標値(平成27年度) 100

平成23年度末の達成状況 76.1

(達成状況とその評価)

平成23年度は、狭山台中学校の校舎の耐震補強工事を実施するとともに、柏原小学校、奥富小学校、堀兼小学校の体育館の耐震補強工事を実施した。今後も目標の達成に向け継続して実施していく必要がある。

○小中学校の校舎の冷暖房設備の改修学校数(校)

実績値(平成21年度) 14/27(51.8%)

目標値(平成27年度) 20/25(80.0%)

平成23年度末の達成状況 15/25(60.0%)

(達成状況とその評価)

平成23年度は、富士見小学校の冷暖房設備の改修工事を実施した。今後も目標の達成に向け継続して実施していく必要がある。

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L-11)

堀兼学校給食センター更新の進捗率(%)

実績値(平成21年度) —

目標値(平成27年度) 100

平成23年度末の達成状況 基本計画の策定

(達成状況とその評価)

更新にかかる基本方針、基本計画を策定し、更新事業の枠組みを定めた。今後は、平成27年度2学期からの稼働に向けて、事業手法の選定、実施方針の策定、事業者の選定等に取り組んでいく必要がある。

1) 安心・安全な教育環境の確保

★校舎等耐震補強事業(整理番号22)

⇒必要性: 5、有効性: 5、効率性: 4、今後: 継続

2) 快適な教育環境の確保

★校舎空調設備改修事業（整理番号23）

⇒必要性：5、有効性：4、効率性：4、今後：継続

★校舎等改修事業（整理番号24）

⇒必要性：5、有効性：4、効率性：4、今後：内容の見直し

★堀兼学校給食センター更新事業（整理番号25）

⇒必要性：5、有効性：5、効率性：4、今後：継続

3) 学校の規模の適正化

★学校統廃合事業（整理番号26）

⇒必要性：5、有効性：5、効率性：4、今後：継続

(3) 地域と連携した教育の推進

後期基本計画における「とりくみ目標」（整理番号L-12）

○学校支援ボランティアの派遣人数（人）

実績値（平成21年度） 242

目標値（平成27年度） 290

平成23年度末の達成状況 261

（達成状況とその評価）

小・中学校へ学習支援などのボランティアを派遣する学校支援ボランティアセンターにおいて、ボランティアの登録の促進と派遣先の確保に努めた。今後も、派遣人数の増加に努めていく必要がある。

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L-13)

○学校応援団への参加者数(人)

実績値(平成21年度)	59,875
目標値(平成27年度)	63,000
平成23年度末の達成状況	55,935

(達成状況とその評価)

各小・中学校ごとに設置されている学校応援団について、保護者や地域住民などの参加の促進を図るとともに、各学校や地域の特色を活かした活動の促進を図った。なお、参加者数については、人数の捉え方が変更になったため、平成23年度は減少した。

[変更点]1日のうちに同一人が複数の活動に参加した場合

変更前：各々の活動で1人としてカウント

変更後：1日をとおして1人でカウント

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L-14)

家庭教育の啓発活動の実施回数(回)

実績値(平成21年度)	56
目標値(平成27年度)	70
平成23年度末の達成状況	71

(達成状況とその評価)

公民館における取組みが増えたことにより目標値を達成できた。今後も、家庭教育学級等の実施回数の確保に努めるとともに、内容の充実を図っていく必要がある。

1) 学校開放などの推進

2) 地域による学校支援の促進

★学校支援ボランティアセンター事業(整理番号27)

⇒必要性：5、有効性：5、効率性：4、今後：継続

3) 家庭や地域の教育力の向上

★家庭教育支援事業(整理番号28)

⇒必要性：5、有効性：4、効率性：4、今後：継続

★地域子ども教室推進事業(整理番号29)

⇒必要性：5、有効性：4、効率性：4、今後：継続

3 人権と平和の尊重

(1) 人権尊重意識の高揚

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L-15)

○人権啓発に関する事業件数(件)

実績値(平成21年度)	5
目標値(平成27年度)	7
平成23年度末の達成状況	6

(達成状況とその評価)

講演会やパネル展の開催などにより、人権問題に対する理解を深める機会を拡充した。今後も、関係機関と連携し、事業件数の増加に努め、併せて内容の充実を図っていく必要がある。

○人権教育に関する事業件数(件)

実績値(平成21年度)	56
目標値(平成27年度)	60
平成23年度末の達成状況	55

(達成状況とその評価)

目標値に近い事業件数となった。目標値の達成に向け、今後も、公民館・集会所における事業件数の増加を図っていく必要がある。

1) 人権尊重意識の啓発活動の推進

2) 人権教育の推進

★人権教育推進事業(整理番号30)

⇒必要性: 5、有効性: 5、効率性: 4、今後: 継続

(2) 平和意識の高揚

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L-16)

平和関連事業の実施件数(件)

実績値(平成21年度) 5

目標値(平成27年度) 7

平成23年度末の達成状況 5

(達成状況とその評価)

市民の平和に対する意識の高揚を図るため、平和関連事業を実施したが、目標値の達成には至っていない。今後も、さらに公民館等での事業の拡充を図っていく必要がある。

1) 平和意識の啓発活動の推進

4 市民文化の振興と国際化への対応

(1) 創造性豊かな文化の振興

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L17)

市民文化祭の参加団体数(団体)

実績値(平成21年度) 640

目標値(平成27年度) 670

平成23年度末の達成状況 650

(達成状況とその評価)

公民館などで活動する芸術・文化団体の活動の促進と市民文化祭への参加の促進を図った結果、平成23年度の市民文化祭への参加団体数は650団体となった。今後も、市民の芸術・文化活動の促進を図るなかで、市民文化祭への参加の拡大を図っていく必要がある。

後期基本計画における「とりくみ目標」（整理番号L-18）

民俗芸能などの保存継承件数（件）

実績値（平成21年度） 16

目標値（平成27年度） 16（現状維持を目標）

平成23年度末の達成状況 16

（達成状況とその評価）

民俗芸能などの保存継承については、保存会等の団体の活動を支援することなどにより、件数を維持することができた。今後も、伝承者の高齢化や後継者の減少などの課題はあるが、現状維持を図っていく必要がある。

1) 市民が創る文化活動の促進

★文化活動支援事業（整理番号31）

⇒必要性：4、有効性：4、効率性：3、 今後：継続

2) 文化財の保存・継承と公開

★指定文化財管理事業（整理番号32）

⇒必要性：4、有効性：4、効率性：4、 今後：継続

IV 学識経験者の意見等

点検評価の客観性を確保する趣旨から、学識経験者2名から意見等を聴取しました。意見等の主な内容は、次のとおりです。

1 とりくみ目標の点検評価表について

(1) 数値目標設定の意義

今日、行政などあらゆる公共サービスについて、数値目標を掲げて、その達成率をチェックするのが当たり前とされている。しかし、中には目標を数値に置くこと自体が必ずしも必要ではない、あるいは妥当ではないケースもある。

まず、スポーツ実施率については、スポーツやレクリエーションに取り組まなくてはならないとする根拠が曖昧である。医学やスポーツ科学などの分野で、統計的数値から導き出される仮説の妥当性に関しては、必ずしも信がおけないものが少なくない。また、人がどのような生き方をするか（時間の過ごし方をするか）は、個人の選択によるものである。「なんらかのスポーツやレクリエーションに取り組みたいのに、そのような機会や場に恵まれない、行政として何らかの支援を」という市民の要求を受けて行政が動くというなら話は分かる。人の健康法は個人差があって、スポーツやレクリエーションが、不可欠との根拠は曖昧である。

次に、埼玉県学習状況調査項目のなかの「関心・意欲・態度の観点」について、「関心・意欲・態度」は、指導要録の項目の一つであり、これを無視することはできない。

これに関して、「関心・意欲・態度」が評価の観点に登場した経緯を思い起こして欲しい。「うちの子は体育（音楽）が不得手で、頑張っているのだが、いつも評価が低い」。こう話す保護者は少なくない。体育や音楽は、子どものスキルを評定する。これらのスキルは努力だけでは得にくいものも多く、子どもによっては、評定値が上がらないことも多い。そこで、努力した子どもには「よく頑張ったね」という評価があっても良いのではないかと、それが「関心・意欲・態度」という観点になったのである。

ところが、これが本来の趣旨を離れて、「関心・意欲・態度」をどう見分けるかということが新たな課題となり、授業中の挙手回数などがその目安とされたりすることにもなった。「関心・意欲・態度」は、教師の授業が子どもたちの興味・関心を呼び起こすものであれば、おのずと子どもの中に生まれてくる。この評価項目は、その意味では教師の授業力の評価ということになる。

しかし、「関心・意欲・態度」を重視するだけでなく、どれだけ努力したかを見極めることも必要であろう。県の学力調査の問題を見ていないので、その妥当性を問えない。しかし、知識・技能等の項目でなく、この項目をとりくみ目標にすることについては、検討の余地がある。

次に、目標とされた数値の妥当性についてである。教育委員会として、議論を重ねて打ち出された数値であろうとは思ふ。しかし、それぞれの数値の妥当性が、外目にはよく分からないこともある。たとえば、不登校児の学校復帰率について、平成27年度で33.3%となっている。33.3%、つまり、3分の1の者が復帰すれば良いということだと思ふのだが、それが目標というのは分からない。

その他の項目についても数値化の妥当性、数値の妥当性について、内部では議論が、外部に向けては説明が必要と考える。

(2) 縦割りの解消、連携の強化

教育委員会と市長部局との間で、また、教育委員会内部で、縦割りの解消と連携の強化をいっそう進めるべきであろう。

まず、シニア・コミュニティ・カレッジと狭山元気大学との関連についてである。これを区分けする意義はどこにあるのだろうか。

社会教育課を生涯学習課に組み替えた自治体は、それまで社会教育課として担っていた地域課題の解決などに関する内容を放棄し、趣味・教養に軸足を移していった。そうした自治体では、地域の課題は地域住民の手でという「新しい公共」の流れに乗り遅れ、地域課題の解決に向けた学習活動は、首長部局の手でという構図が生み出されてきた。

しかし、狭山市は長く、社会教育課を残してきた。優れた見識である。シニア・コミュニティ・カレッジと狭山元気大学とを併存させる必要はないと考える。両者は統合的に運用する方が効率的であろう。

NPOなどの人材育成のための講座とそこで育った人材の活動サポートについて、教育委員会と市長部局との連携が求められるのである。

次に、学校支援ボランティアと学校応援団の関連である。この2つは、趣旨から言って同じものと解される。埼玉県が絡もうが絡むまいが関係ない。県との関係上は学校応援団の名称を採るとしても、両者を区分けする必要はない。狭山市内では「学校支援ボランティア（学校応援団）」と呼ぶことに不都合があるだろうか。NPOと行政との手結び方、予算の運用等に若干の工夫は必要かも知れない。しかし、さして難問ではなからう。

(3) 個別事項に対する意見等

ア 生涯学習・社会教育情報へのアクセス件数

実際の学習機会利用者や団体・講師利用者の数は出せるのか。学習情報の提供と同時に、学習相談に応じられるような体制整備が求められるのではないか。

イ 現代的課題や地域課題に関する事業件数

講座数の増加によって判断するという点でいえば、目標設定値が低い。公民館の主体的な取り組みである「現代的課題」、「地域課題」の解決に関する講座の開設は、各公民館でもっと開催されてもよい。

ウ スポーツ教室・行事の開催件数

開設数を増やせばよいという事業は、達成しやすい。目標値が低いのではないか。

エ 公共スポーツ施設利用者数

目標値を見直すべきである。

オ スポーツ実施率

50%を目指すスポーツ実施率におけるスポーツの定義、レクリエーションの定義が問題となる。

カ 埼玉県学習状況調査項目のなかで関心・意欲・態度の観点を測る問題の正答率

教員とともに、学校支援ボランティア、学校応援団の活動とうまくリンクさせることが必要ではないか。

キ 農業体験宿泊学習実施校数

実績値が低い。学校、保護者等との打ち合わせ・話し合いが十分かどうか、プログラムがうまくできているかどうか、検討する必要があると思われる。学校応援団の力も借りるなど、工夫が必要なのではないか。事業自体の必要度は高いと考えられる。

ク 学校支援ボランティアの派遣人数

目標値を見直すべきである。

ケ 学校応援団への参加者数

目標値算出の根拠は何か。

- コ 家庭教育の啓発活動の実施回数
目標値を見直すべきである。

2 事務点検評価表について

(1) 狭山シニア・コミュニティ・カレッジ

高齢化の急進で、日本は超高齢社会に突入した。社会教育・生涯学習の視点が高齢者に向くのはやむを得ぬところである。しかし、新しい公共は高齢者だけで担うのではない。青少年、中年期の者、すべての協力の下に担われるべきものである。その意味で、狭山シニア・コミュニティ・カレッジの名称は再考の余地があろう。趣味・教養、地域課題解決、どの学習であれ、シニアだけを対象とする意味はあろうか。もとより、講座によって、受講生の年齢に偏りができることは自然なことだ。しかし、初めから、カレッジを高齢者のためと位置づけるのはどんなものか。

(2) 指定管理者の評価

本市も、公共施設が指定管理者に移管されている。指定管理者制度は、当初、若干の混乱があったものの、概ね、その長所が生かされるようになりつつある。しかし、行政当局は、指定管理者に対して、日常の連携に留まらず、きめ細かい評価を継続しなければならない。

(3) 学校への補助的人員の配置

非常勤講師、英語支援員の配置等、学校教育支援のための補助的人員の配置について、前進していることは賛成である。日本の教員の多忙は、すでに報じられているとおり、OECD加盟諸国の中でも際立っている。日本の全教員の一日の平均勤務時間は、11.5時間である。この中には諸外国に例を見ない部活指導の時間が含まれている。学力世界一と喧伝されたフィンランドの教員の平均勤務時間は、5.5時間である。

今日の教員は、授業時数確保に留まらず、事務量の増加も半端ではない。学習指導のみを教員の職務とする欧米諸国に比較して、日本の教員は、生徒指導に割かなくてはならない時間も相当の時間になる。それでも、多くの教員は、子どもと向き合う職に生きる誇りを持って職務に取り組んでいる。教員のゆとりは間違いなく教育の質に影響する。財政難の中で難しい課題だとは思う。だからこそ、削減可能な予算は削減しなければならない。

(4) 個別事項に対する意見等

整理番号1～32の事務事業に対する意見等は、それぞれの点検評価票の「6 学識経験者の意見等」欄に記載してあるとおりでである。

3 その他

日本の教育は、今、大きな課題を抱えている。しかし、国はその課題の認識をどの程度持っているのか、疑問を持つことが多い。

確かに、今回の滋賀県のいじめ問題や、なくなることのない教員の不祥事などを見ると、教育委員会・学校にも課題が多いと思う。しかし、教育委員会・学校レベルでは解決できない問題が山積していることも事実である。

ただ、こうした状況の中でも、着実に成果を上げている教育委員会、学校はあるということだ。今後の課題として次のことを記しておきたい。

(1) 小中一貫（連携）、保幼小連携

小中一貫は、本県では八潮市が先鞭をつけ、その成果は顕著であった。その成果を見て、県は、小中一貫を県内各市町村でも進めつつある。今、春日部市が県の意向を受けて、実施しはじめた。県内各市町村も、早晚、この課題に取り組まざるを得ないと思われる。八潮市では、不登校児の解消にも、改善の傾向が見られるようになっていいる。いじめの防止にも一定の成果があるようだ。

一方、保幼小連携に関しては、5歳児のカリキュラムが、各自治体で作成され、小学校入学後の児童の指導が効率化されるようになっていいる。台東区は3年前、足立区は昨年、保幼小連携推進に向けて、保育所を教育委員会に移管した。足立区の保育所は、今、集団活動を取り入れたプログラムを実施し、その成果は着実に小学校入学後の児童の指導に成果をもたらしている。

(2) 保護者との連携

子どもの問題は、保護者に由来することが多い。学校教育にとって、保護者とどう向き合い、どう連携するかは、きわめて重大な課題である。この点で、品川区立第二延山小学校の実践は参考になる。この学校では「二延スタンダード」と呼ぶ、家庭・学校における生活の規律を決め、入学説明会、入学式、保護者会等の折に、保護者を含めてその趣旨を説明し、規律の徹底を求めている。書かれていることは、堅苦しいことではない。今の子どもたちができなくなっている「当たり前の礼儀や規律・行動」をスタンダードとしてまとめている。

(3) 報告書の在り方

これだけ丹念な報告書を作成しているのに、市民は、このことをどれだけ認識しているのだろうか。また、教育関係者は、どの程度、この結果を知っているのだろうか。市民や教育関係者にどのように周知するのか、その方策を考えることも大事なのではないか。

今回、滋賀県の問題を見ていて強く思うことは、教育委員会が、市民と乖離しているということである。日常の活動がもっと知られていれば、市民は教育委員会に理解を示す。そういう手立てとして、この報告書が活用されることにも意義があるのではないか。

文教大学教育学部教授、同大学院教育学研究科長 平沢 茂 氏
東京家政大学人文学部教授、同大学院文学研究科教授 山本 和人 氏

第3次狭山市総合振興計画後期基本計画に掲げた
教育関連施策のとりくみ目標の点検評価表

整理番号	目 標 項 目
L-1	生涯学習・社会教育に関する事業件数
L-2	生涯学習・社会教育情報へのアクセス件数
L-3	現代的課題や地域課題に関する事業件数
L-4	スポーツ教室・行事の開催回数
L-5	公共スポーツ施設利用者数
L-6	スポーツ実施率
L-7	埼玉県学習状況調査項目のなかで関心・意欲・態度 の観点を測る問題の正答率
L-8	農業体験宿泊学習実施校数
L-9	不登校児童生徒の学校復帰率
L-10	小中学校の校舎・体育館の耐震化率 小中学校の校舎の冷暖房設備の改修学校数
L-11	堀兼学校給食センター更新の進捗率
L-12	学校支援ボランティアの派遣人数
L-13	学校応援団への参加者数
L-14	家庭教育の啓発活動の実施回数
L-15	人権啓発に関する事業件数 人権教育に関する事業件数
L-16	平和関連事業件数
L-17	市民文化祭の参加団体数
L-18	民俗芸能などの保存継承件数

第3次狭山市総合振興計画後期基本計画に掲げた
教育関連施策のとりくみ目標の点検評価表

		整理番号	L-1
5章 人を育み文化を創造するまちをめざして（教育文化）			
1節 生涯学習の振興			
1 生涯学習の促進			
とりくみ目標			
目 標 項 目	実績値 (平成21年 度)	平成23年度末数 値	目標値 (平成27年度)
生涯学習・社会教育に関する事業件数（件）	910	906	965
<p>（平成23年度までの取り組み）</p> <p>生涯学習出前講座、おとなの学び応援塾、さやま市民講座、SSCCなどで生涯学習・社会教育に関する様々な事業を実施してきている。</p> <p>また、集会所・公民館・博物館・図書館において生涯学習・社会教育に関する様々な事業を実施してきている。</p> <p>（目標値に対する達成状況）</p> <p>平成23年度は、東日本大震災に伴う計画停電の影響から、会場確保に一部支障が生じ、事業件数が減少した。</p> <p>（今後の取り組み予定等）</p> <p>生涯学習に取り組む機会や場の充実、生涯学習に取り組む市民団体の活動の促進、狭山シニア・コミュニティ・カレッジ事業の充実等を通じて、生涯学習・社会教育に関する事業件数の増加を図っていく。</p>			

（所管課：社会教育課）

第3次狭山市総合振興計画後期基本計画に掲げた
教育関連施策のとりくみ目標の点検評価表

		整理番号	L-2
5章 人を育み文化を創造するまちをめざして（教育文化）			
1節 生涯学習の振興			
1 生涯学習の促進			
とりくみ目標			
目標項目	実績値 (平成21年度)	平成23年度末数 値	目標値 (平成27年度)
生涯学習・社会教育情報へのアクセス件数（件）	—	3,536/月	10,000/月
<p>（平成23年度までの取り組み）</p> <p>平成23年度に、市民交流促進総合ポータルサイト内に狭山市生涯学習情報検索システム「さやまなびいネット」を構築し、約1,500件の情報を登録した。</p> <p>（目標値に対する達成状況）</p> <p>「さやまなびいネット」の構築が平成23年度の途中であったため、アクセス件数については、目標値と開きがある。</p> <p>（今後の取り組み予定等）</p> <p>「さやまなびいネット」の周知を図るなかで、アクセス件数の増加を図っていく。</p>			

（所管課：社会教育課）

第3次狭山市総合振興計画後期基本計画に掲げた
教育関連施策のとりくみ目標の点検評価表

		整理番号	L-3
5章 人を育み文化を創造するまちをめざして（教育文化）			
1節 生涯学習の振興			
1 生涯学習の促進			
とりくみ目標			
目 標 項 目	実績値 (平成21年 度)	平成23年度末数 値	目標値 (平成27年度)
現代的課題や地域課題に関する事業件数（件）	97	157	150
<p>（平成23年度までの取り組み） 公民館や関係課と連携して、環境・人権・国際化・高齢化・子育てなどの現代的課題や、地域の固有なまちづくりなどに関わる地域課題に関する講座を開催してきている。</p> <p>（目標値に対する達成状況） 目標値を達成することができた。</p> <p>（今後の取り組み予定等） 講座の中に参加型・体験型の学習を取り入れるなど実施方法に工夫をこらすとともに、市民が講座を通して学んだことを地域活動に活かせるよう、講座の充実を図っていく。</p>			

（所管課：社会教育課・中央公民館）

第3次狭山市総合振興計画後期基本計画に掲げた
教育関連施策のとりくみ目標の点検評価表

		整理番号	L-4
5章 人を育み文化を創造するまちをめざして（教育文化）			
1節 生涯学習の振興			
2 スポーツ・レクリエーション活動の促進			
とりくみ目標			
目標項目	実績値 (平成21年度)	平成23年度末数 値	目標値 (平成27年度)
スポーツ教室・行事の開催回数(回)	21	23	25
<p>(平成23年度までの取り組み) 各種スポーツ教室・行事については、市民のニーズを把握し、新たな種目を加えるなどして、内容の充実を図ってきている。</p> <p>(目標値に対する達成状況) 開催回数については、目標値に近い数値となり、併せて参加者も増加傾向にある。</p> <p>(今後の取り組み予定等) 今後も、市民のニーズを的確に把握するとともに、民間企業や大学等の施設や人材などを活用するなどして、内容の充実を図っていく。</p>			

(所管課：スポーツ振興課)

第3次狭山市総合振興計画後期基本計画に掲げた
教育関連施策のとりくみ目標の点検評価表

		整理番号	L-5
5章 人を育み文化を創造するまちをめざして（教育文化）			
1節 生涯学習の振興			
2 スポーツ・レクリエーション活動の促進			
とりくみ目標			
目標項目	実績値 (平成21年度)	平成23年度末数 値	目標値 (平成27年度)
公共スポーツ施設利用者数 (人)	813,109	862,160	830,000
<p>(平成23年度までの取り組み)</p> <p>各種のスポーツ教室の開催や体育協会をはじめとする各種スポーツ・レクリエーション団体の活動を通じて、さらには、各施設での自主事業の実施を通じて、スポーツ施設の利用の促進を図ってきている。</p> <p>(目標値に対する達成状況)</p> <p>目標値は、市の屋外運動施設、市民総合体育館、地域スポーツ施設、小中学校開放体育館、武道館、プール（狭山台、南入曾公園、入間川小学校）などを利用した人数である。施設の利用人数の増加により、目標値は達成している。</p> <p>(今後の取り組み予定等)</p> <p>今後も、市民のニーズを的確に把握するとともに、各種スポーツ・レクリエーション団体のより一層の活性化を図るなかで、施設の有効利用の促進を図っていく。</p>			

(所管課：スポーツ振興課)

第3次狭山市総合振興計画後期基本計画に掲げた
教育関連施策のとりくみ目標の点検評価表

		整理番号	L-6
5章 人を育み文化を創造するまちをめざして（教育文化）			
1節 生涯学習の振興			
2 スポーツ・レクリエーション活動の促進			
とりくみ目標			
目標項目	実績値 (平成19年度)	平成23年度末数 値	目標値 (平成27年度)
スポーツ実施率（%）	36.4	H24アンケート実施予定	50以上
<p>（平成23年度までの取り組み）</p> <p>市民のニーズを踏まえて、各種のスポーツ教室・行事の充実を図るなどして、市民がスポーツに親しむ機会の拡充を図るなかで、スポーツの実施率の向上に取り組んできている。</p> <p>（目標値に対する達成状況）</p> <p>平成23年度末時点の、アンケート調査は実施しておらず、達成状況の把握は難しいが、近年のスポーツ・レクリエーションへの関心度の高まりから、目標値に近づきつつあると思われる。</p> <p>（今後の取り組み予定等）</p> <p>今後も、各種スポーツ教室・行事の充実を図るとともに、スポーツによる健康づくり等について、啓発を図るなどして、市民のスポーツの実施率の向上を図っていく。</p>			

（所管課：スポーツ振興課）

第3次狭山市総合振興計画後期基本計画に掲げた
教育関連施策のとりくみ目標の点検評価表

		整理番号	L-7
5章 人を育み文化を創造するまちをめざして（教育文化）			
2節 学校教育の充実			
1 教育内容の充実			
とりくみ目標			
目標項目	実績値 (平成21年度)	平成23年度末数 値	目標値 (平成27年度)
埼玉県学習状況調査項目のなかで関心・意欲・態度の観点を測る問題の正答率(%)	小学 76.6 中学 55.9	小学 68.5 中学 64.2	小学 80.0 中学 70.0
<p>(平成23年度までの取り組み)</p> <p>各種学力調査の分析結果から、各学校の課題を明確にし、実態に合わせた取り組みを計画的・継続的に推進した。</p> <p>少人数指導等による個に応じた学習指導を充実させ、基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、「分かる喜び」「学ぶ楽しさ」を実感できる指導を展開した。</p> <p>新学習指導要領の趣旨を踏まえ、ICTの活用を充実させながら授業改善を図った。</p> <p>(目標値に対する達成状況)</p> <p>中学校においては、正答率が上がったが、小学校においては、正答率が下がった。学習への関心・意欲・態度を高める指導をさらに充実させる必要がある。</p> <p>(今後の取り組み予定等)</p> <p>平成24年度以降も平成23年度までの取り組みを継続し、その充実を図る。</p> <p>児童生徒の興味・関心を高める授業を展開するよう、教員の研修を推進する。</p> <p>家庭の協力も得ながら、児童生徒の学習習慣の定着を図る。</p> <p>補充学習を充実させ、児童生徒の学力と学習意欲の向上を図る。</p>			

(所管課：教育指導課)

第3次狭山市総合振興計画後期基本計画に掲げた
教育関連施策のとりくみ目標の点検評価表

		整理番号	L-8
5章 人を育み文化を創造するまちをめざして（教育文化）			
2節 学校教育の充実			
1 教育内容の充実			
とりくみ目標			
目 標 項 目	実績値 (平成21年 度)	平成23年度末数 値	目標値 (平成27年度)
農業体験宿泊学習実施校数 (校)	3	9	17
<p>(平成23年度までの取り組み)</p> <p>校外学習の一環として、また、学校統廃合に伴う事前交流として、新潟県津南町の民家に宿泊し、農業体験を行う活動をいくつかの学校で実施してきた。</p> <p>(目標値に対する達成状況)</p> <p>目標値に対して、3年間で累計9校、53%の実施状況である。残り4年間に、8校の実施で目標値に達するが、平成23年度は1校、平成24年度も1校が実施予定で、実施校が少なくなっているのが現状である。目標値達成のためには、各学校に農業体験宿泊学習のメリットを伝え、実施に前向きになるよう働きかけていく必要がある。</p> <p>(今後の取り組み予定等)</p> <p>入間川中学校で行っている津南町での林間学校の取り組みを紹介したり、学校の統廃合が決定した場合には、統廃合該当校の事前交流として宿泊学習を実施するなどして、実施校数の増加を図っていく。</p>			

(所管課：教育指導課)

第3次狭山市総合振興計画後期基本計画に掲げた
教育関連施策のとりくみ目標の点検評価表

		整理番号	L-9
5章 人を育み文化を創造するまちをめざして（教育文化）			
2節 教育の充実			
1 教育内容の充実			
とりくみ目標			
目 標 項 目	実績値 (平成21年 度)	平成23年度末数 値	目標値 (平成27年度)
不登校児童生徒の学校復帰率（%）	27.4	33.3	33.3
<p>（平成23年度までの取り組み）</p> <p>教育センターにおいて、主任相談員を含む相談員4名、電話相談員1名による不登校児童生徒及びその保護者との定期的な面談を実施するとともに、学校と適応指導教室との連携を密にするなどして、相談・指導の充実を図り、学校への復帰を促した。</p> <p>（目標値に対する達成状況）</p> <p>前年度を超え、目標値を達成している。</p> <p>（今後の取り組み予定等）</p> <p>引き続き、相談員によるきめ細かな相談活動、学校と適応指導教室との連携の強化等を通じて、相談・指導の充実を図っていく。</p>			

（所管課：教育センター）

第3次狭山市総合振興計画後期基本計画に掲げた
教育関連施策のとりくみ目標の点検評価表

		整理番号	L-10
5章 人を育み文化を創造するまちをめざして（教育文化）			
2節 学校教育の充実			
2 教育環境の充実			
とりくみ目標			
目標項目	実績値 (平成21年度)	平成23年度末数 値	目標値 (平成27年度)
小中学校の校舎・体育館の耐震化率（％）	63.3	76.1	100
小中学校の校舎の冷暖房設備の改修学校数（校）	14 / 27 (51.8%)	15 / 25 (60.0)	20 / 25 (80.0%)
<p>（平成23年度までの取り組み）</p> <p>平成22年度は、西中学校、山王中学校校舎の耐震補強工事、平成23年度は狭山台中学校校舎の耐震補強工事を実施した。また、小学校は、平成23年度に柏原小学校・奥富小学校・堀兼小学校体育館の耐震補強工事を実施した。</p> <p>小・中学校の校舎の冷暖房設備の改修は、平成22年度は、水富小学校、平成23年度は、富士見小学校を実施した。</p> <p>（目標値に対する達成状況）</p> <p>平成23年度の小・中学校の耐震補強工事及び冷暖房設備の改修工事は、予定どおり実施した。</p> <p>（今後の取り組み予定等）</p> <p>耐震補強については、体育館の耐震補強工事を継続的に実施し、平成27年度末までには、小中学校の校舎・体育館の耐震補強を完了させる。</p> <p>校舎の冷暖房設備の改修は、平成24年度からは毎年度2校ずつ実施するなどして、平成27年度末までには目標を上回り、全ての小中学校の校舎の冷暖房設備の改修を完了させる。</p>			

（所管課：教育総務課）

第3次狭山市総合振興計画後期基本計画に掲げた
教育関連施策のとりくみ目標の点検評価表

		整理番号	L-11
5章 人を育み文化を創造するまちをめざして（教育文化）			
2節 学校教育の充実			
3 教育環境の充実			
とりくみ目標			
目標項目	実績値 (平成21年度)	平成23年度末数 値	目標値 (平成27年度)
堀兼学校給食センター更新の進捗率（%）	—	基本計画策定	100
<p>（平成23年度までの取り組み） 堀兼学校給食センターの更新にかかる基本方針及び基本計画を策定した。</p> <p>（目標値に対する達成状況） 堀兼学校給食センターの更新にかかる基本方針及び基本計画を策定し、更新事業の枠組みを定めた。</p> <p>（今後の取り組み予定等） 平成27年度2学期からの稼働に向けて、事業手法の選定、実施方針の策定、事業者の選定等に取り組んでいく。</p>			

（所管課：教育総務課）

第3次狭山市総合振興計画後期基本計画に掲げた
教育関連施策のとりくみ目標の点検評価表

		整理番号	L-12
5章 人を育み文化を創造するまちをめざして（教育文化）			
2節 学校教育の充実			
3 地域と連携した教育の推進			
とりくみ目標			
目標項目	実績値 (平成21年度)	平成23年度末数 値	目標値 (平成27年度)
学校支援ボランティアの派遣人数（人）	242	261	290
<p>（平成23年度までの取り組み）</p> <p>地域の教育力を活かして、小中学校へ学習支援などのボランティアを派遣する学校支援ボランティアセンターについて、平成23年度においては、全ての小中学校25校に実人数261名のボランティアを派遣し、延べ8,361時間の支援を行った。</p> <p>（目標値に対する達成状況）</p> <p>目標値290人に対し、平成23年度では261人のボランティアの派遣を行なった。</p> <p>（今後の取り組み予定等）</p> <p>引き続き、ボランティア登録の促進に努めるとともに、各小中学校と連携を図りながら、派遣先の確保に努める。</p>			

（所管課：社会教育課）

第3次狭山市総合振興計画後期基本計画に掲げた
教育関連施策のとりくみ目標の点検評価表

		整理番号	L-13
5章 人を育み文化を創造するまちをめざして（教育文化）			
2節 学校教育の充実			
3 地域と連携した教育の推進			
とりくみ目標			
目標項目	実績値 (平成21年度)	平成23年度末数 値	目標値 (平成27年度)
学校応援団への参加者数 (人)	59,875	55,935	63,000
<p>(平成23年度までの取り組み)</p> <p>平成22年度からは全ての小中学校に、コーディネーターが配置され、学習支援、部活動指導、環境整備、登下校の安全指導、学校との合同行事等、保護者や地域住民等の多くのボランティアが多岐にわたる学校支援を行っている。</p> <p>(目標値に対する達成状況)</p> <p>平成23年度は、各小中学校において、延べ55,935人のボランティアの協力が得られた。</p> <p>なお、数値については、県へ報告する延べ人数の捉え方が変更になったため、平成23年度は減少した。</p> <p>[変更点] 1日のうちに同一人が複数の活動に参加した場合 変更前：各々の活動で1人としてカウント 変更後：1日をとおして1人でカウント</p> <p>(今後の取り組み予定等)</p> <p>引き続き、埼玉県の学校応援団推進事業を活用するなかで、全ての小中学校にコーディネーターを継続して配置するとともに、配置方法や運営方法等を充実し、より多くのボランティアの参加の促進を図るなかで、学校支援活動の充実と拡大に努めていく。</p>			

(所管課：社会教育課)

第3次狭山市総合振興計画後期基本計画に掲げた
教育関連施策のとりくみ目標の点検評価表

		整理番号	L-14
5章 人を育み文化を創造するまちをめざして（教育文化）			
2節 学校教育の充実			
3 地域と連携した教育の推進			
とりくみ目標			
目標項目	実績値 (平成21年度)	平成23年度末数 値	目標値 (平成27年度)
家庭教育の啓発活動の実施回数（回）	56	71	70
<p>（平成23年度までの取り組み） 家庭での親子の交流を啓発するとともに、PTAと連携して、家庭教育研修会や家庭教育学級の内容の充実を図るなどして、家庭の教育力向上の促進を図った。</p> <p>（目標値に対する達成状況） 公民館における取り組みが増えたことから目標値を達成できた。</p> <p>（今後の取り組み予定等） 今後も家庭教育学級等の実施回数の確保に努めるとともに、内容の充実を図っていく。</p>			

（所管課：社会教育課）

第3次狭山市総合振興計画後期基本計画に掲げた
教育関連施策のとりくみ目標の点検評価表

		整理番号	L-15
5章 人を育み文化を創造するまちをめざして（教育文化）			
4節 人権と平和の尊重			
1 人権尊重意識の高揚			
とりくみ目標			
目標項目	実績値 (平成21年度)	平成23年度末数 値	目標値 (平成27年度)
人権啓発に関する事業件数 (件)	5	6	7
人権教育に関する事業件数 (件)	56	55	60
<p>(平成23年度までの取り組み)</p> <p>同和問題をはじめとして、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人などに関わる様々な人権問題に対する理解を促進し、人権尊重意識の高揚を図るため、様々な機会を通じて啓発活動を推進してきた。</p> <p>(目標値に対する達成状況)</p> <p>公民館における人権教育の事業件数の増加が図られず、実績値とほぼ同数の事業件数にとどまっている。</p> <p>(今後の取り組み予定等)</p> <p>今後も、関係機関と連携して、事業の実施に取り組んでいくこととし、特に、公民館・集会所における人権教育の事業件数の増加を図っていく。</p>			

(所管課：社会教育課)

第3次狭山市総合振興計画後期基本計画に掲げた
教育関連施策のとりくみ目標の点検評価表

		整理番号	L-16
5章 人を育み文化を創造するまちをめざして（教育文化）			
3節 人権と平和の尊重			
2 平和意識の高揚			
とりくみ目標			
目標項目	実績値 (平成21年度)	平成23年度末数 値	目標値 (平成27年度)
平和関連事業件数（件）	5	5	7
<p>（平成23年度までの取り組み） 市民の平和に対する意識の高揚を図るため、平和関連事業を実施し、平和に関する教育や啓発を推進した。</p> <p>（目標値に対する達成状況） 事業件数は、市長部局の事業も含めて5件であり、目標値の達成には至っていない。</p> <p>（今後の取り組み予定等） 引き続き、平和関連事業を実施するなかで、特に、公民館と連携して平和関連事業の拡充を図り、平和に関する教育や啓発をとおして、市民の平和に対する意識の高揚を図っていく。</p>			

（所管課：社会教育課）

第3次狭山市総合振興計画後期基本計画に掲げた
教育関連施策のとりくみ目標の点検評価表

		整理番号	L-17
5章 人を育み文化を創造するまちをめざして（教育文化）			
4節 市民文化の振興と国際化への対応			
1 創造性豊かな文化の振興			
とりくみ目標			
目標項目	実績値 (平成21年 度)	平成23年度末数 値	目標値 (平成27年度)
市民文化祭の参加団体数（団体）	640	650	670
<p>（平成23年度までの取り組み）</p> <p>公民館などで活動する芸術・文化団体について、場の提供を通じて活動の促進に取り組むとともに、活動の成果を発表する場としての市民文化祭への参加、促進を図ってきている。</p> <p>（目標値に対する達成状況）</p> <p>平成23年度の市民文化祭の参加団体数は、650団体となった。</p> <p>（今後の取り組み予定等）</p> <p>今後も、市民の芸術・文化活動の促進を図るなかで、市民文化祭への参加の拡大を図っていく。</p>			

（所管課：社会教育課）

第3次狭山市総合振興計画後期基本計画に掲げた
教育関連施策のとりくみ目標の点検評価表

		整理番号	L-18
5章 人を育み文化を創造するまちをめざして（教育文化）			
4節 市民文化の振興と国際化への対応			
1 創造性豊かな文化の振興			
とりくみ目標			
目標項目	実績値 (平成21年度)	平成23年度末数 値	目標値 (平成27年度)
民俗芸能などの保存継承件数 (件)	16	16	16
<p>(平成23年度までの取り組み)</p> <p>補助金の交付等を通じて民俗芸能などの保存に取り組んでいる団体の活動を支援し、民俗芸能などの保存継承を図ってきている。</p> <p>(目標値に対する達成状況)</p> <p>民俗芸能などの保存継承件数について、平成23年度は現状を維持することができた。</p> <p>(今後の取り組み予定等)</p> <p>民俗芸能などの保存団体については、高齢化や後継者の減少などの課題を抱えているが、今後も、補助金の交付等を通じて団体の活動を支援して、その保存継承を図っていく。</p>			

(所管課：社会教育課)

平成24年度教育委員会事務点検評価（平成23年度実施事務事業）評価表

整理番号	事務事業名
1	狭山シニア・コミュニティ・カレッジ事業
2	公民館改修整備事業
3	公民館運営事業（講座等）
4	公民館運営事業（貸館）
5	図書館管理運営事業
6	博物館管理運営事業
7	博物館企画展事業
8	生涯学習情報発信事業
9	公民館講座等運営事業
10	スポーツ教室等開催事業
11	市民総合体育館管理運営事業
12	武道館管理運営事業
13	スポーツボランティア制度運営事業
14	スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援事業
15	外国語早期教育推進事業
16	中学校社会体験チャレンジ事業
17	非常勤講師配置事業
18	幼稚園教育充実事業
19	教育相談事業（いじめ・不登校対策事業）
20	奨学金貸与事業
21	私立幼稚園就園奨励費補助事業
22	校舎等耐震補強事業
23	校舎空調設備改修事業
24	校舎等改修事業
25	堀兼学校給食センター更新事業
26	学校統廃合事業
27	学校支援ボランティアセンター事業
28	家庭教育支援事業
29	地域子ども教室推進事業
30	人権教育推進事業
31	文化活動支援事業
32	指定文化財管理事業